

中央・北地域部会(栗一会)

令和2年度 活動報告

障害者生活支援センターこら～れ

小野 朱美

相談支援センター鹿田

川上 俊輔

中央・北地域部会について

定例会：月1回、第3木曜日 13:30～

・・・11回開催(研修、事例検討、地域課題)

地域移行支援WG：定例会の後 16:00～

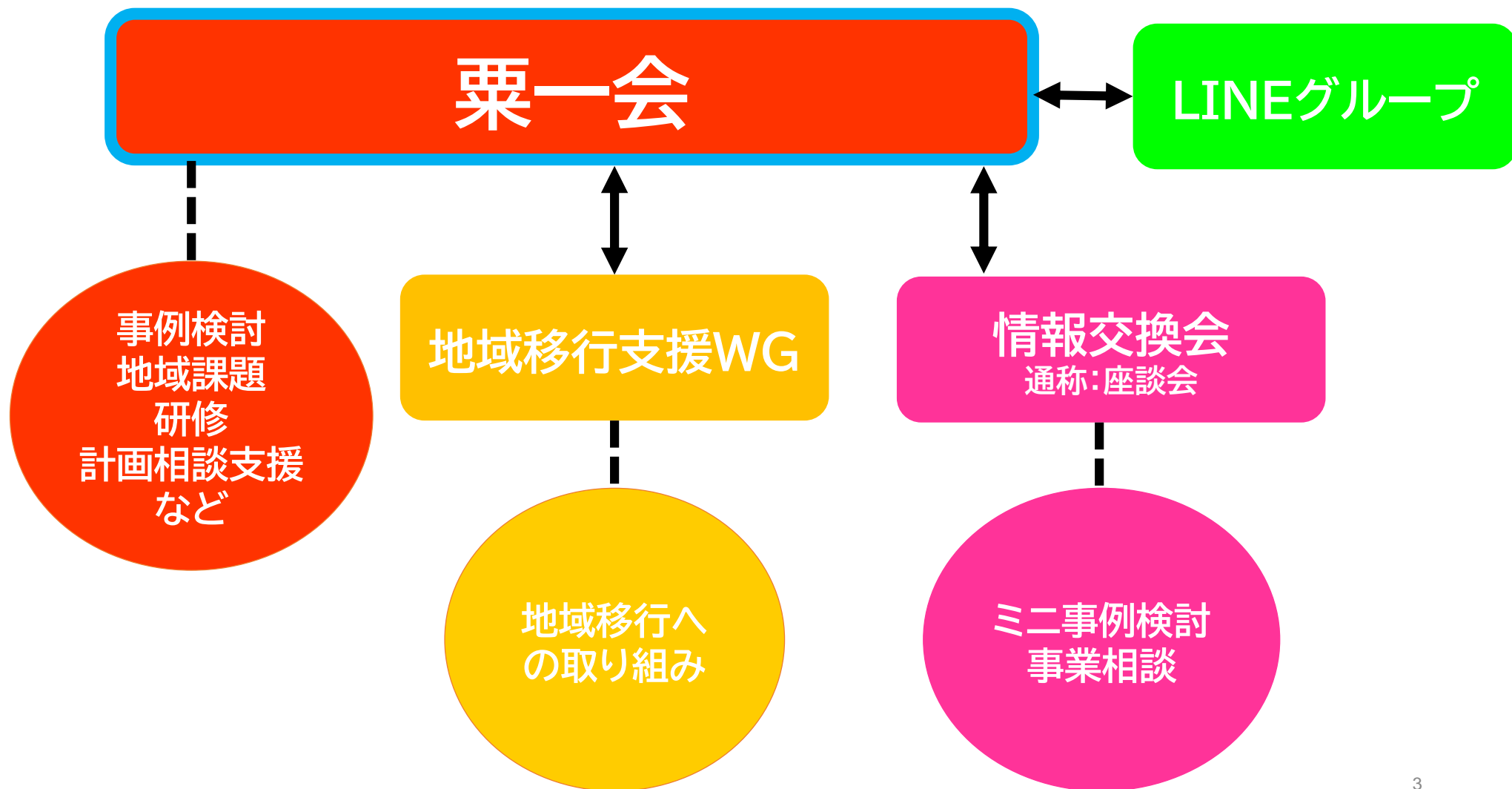
情報交換会：8月、11月、2月の第4木曜日 13:30～15:30

場 所：北ふれあいセンター3階 メンタルサポートルーム

メンバー：相談支援事業所(岡山市北区、南区、総社市)

福祉事務所、保健センター 約25名

中央・北地域部会(粟一会)について



活動報告

1. 事例検討

- ・不登校児童の気持ちがあつかめず支援者主体になっているケース
- ・母子関係に課題があり、福祉サービス事業所への行きしぶりのある方のケース
- ・家族の受け入れが悪く、退院後の行き場がないケース

2. 地域課題の抽出

- ・関係機関の福祉サービス理解について
- ・重度訪問介護(大学内での支援)
- ・新型コロナ対応について(放課後等デイサービスの利用、親が感染した場合の児童の居場所について)

活動報告

3. 研修

『障害者虐待防止に関する動向』

講師:堤 理江 氏

(岡山市障害福祉課)



4. 計画相談支援に関する情報共有

- ・相談支援部会からの報告、質問・意見交換。
- ・情報交換会(通称:座談会)の開催(8月、11月、2月)

活動報告

5. 地域移行支援WG

■参加事業所

岡山市こころの健康センター、一般相談支援事業所(9事業所)

■これまでの実績

n=12 (退院3、支援継続中5、支援中断2、支援期間満了2)

■支援状況

H30年11月WGを立ち上げ。地域移行支援に携われる事業所の多さを中央・北の強みとし、まずは「1事業所1ケース」を目標としてスタート。具体的な動きとしては、こころの健康センターからのケースを共有し、対応可能な事業所を選定し介入。毎月のWGにて進捗状況や課題などを話し合いながら、地域移行支援のあり方について協議を行う

■今後の展望

- ・医療機関スタッフ等も交えた活動
- ・仲間（地域移行支援を行ってくれる事業所）を増やす
- ・地域移行支援パスの作成 等

成果と課題

○成果

- ・顔の見える関係ができ、質問や情報共有ができるようになった
- ・短期入所事業所情報のバージョンアップを実施(H30→R2)
- ・コロナ対策で試行的にZOOM導入

○課題

- ・手厚いフォローや助言が出来るようなサポート体制と資質の向上
- ・地域課題の検討方法
- ・不参加事業所の参加促し
- ・部屋のせまさ＝コロナ対策

